

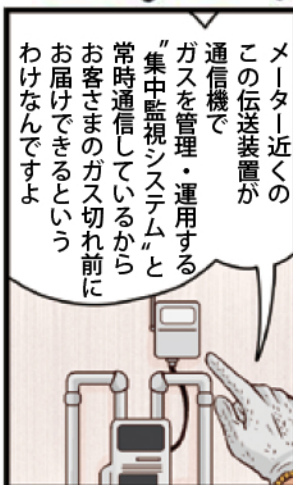


～JA事業紹介編～ まんが:じっく

第101話 ～JAガスセンターより～ お客さまの保安第一で見守っています!



主人公の一ノ瀬なおさんは、現在地元の高校に通う16歳。そろそろ就職か進学か決める時期。JAに勤めている姉の話を聞きながら、将来の自分を見つめます。JAのエネルギー事業の中で、ガス業務は保安を第一に、安心を常にお届けできるよう努めています。



メーター近くのこの伝送装置が通信機でガス管理・運用する「集中監視システム」と常時通信しているからお客さまのガス切れ前にお届けできるというわけなんです



ガス切れ前に来てくれて助かります
皆さんが使ってるボンベのガスが少なくなるとJAに自動で通知される仕組みです



ボンベの交換
終わりました!

厳美 哲郎 (41)
ガスセンターのJA職員



すごく
便利ですね!
お客さまの
保安にも
役立つんですよ

※ガスの異常をキャッチする監視システムは、「あんしんキャッチ24」の愛称でJAが工事・利用料を負担し導入しています。



宣伝ですが
ガスセンターでは
JAでんきも
取り扱っています



JAでんきと
災害に強い
JAプロパン!
よろしく願います



もちろん日々の点検・修理も
JAガスセンターが
しっかり対応します!



ガスは便利だけど
お客さまの安全無くて
ガスの販売はないと
JAは考えています
この見守りサービスが
皆さんのお役に立てば
大変うれしいです

日本の家庭のガス普及率は
約9割と大多数
当然ガス使用による
事故が多くなりがちです

約1割
オール電化
約9割
LPガス
都市ガス